

(4) 「当初輸入申告情報呼出し(修正申告)(DLI02)」業務における 当初申告情報の呼出し可能権限の拡大



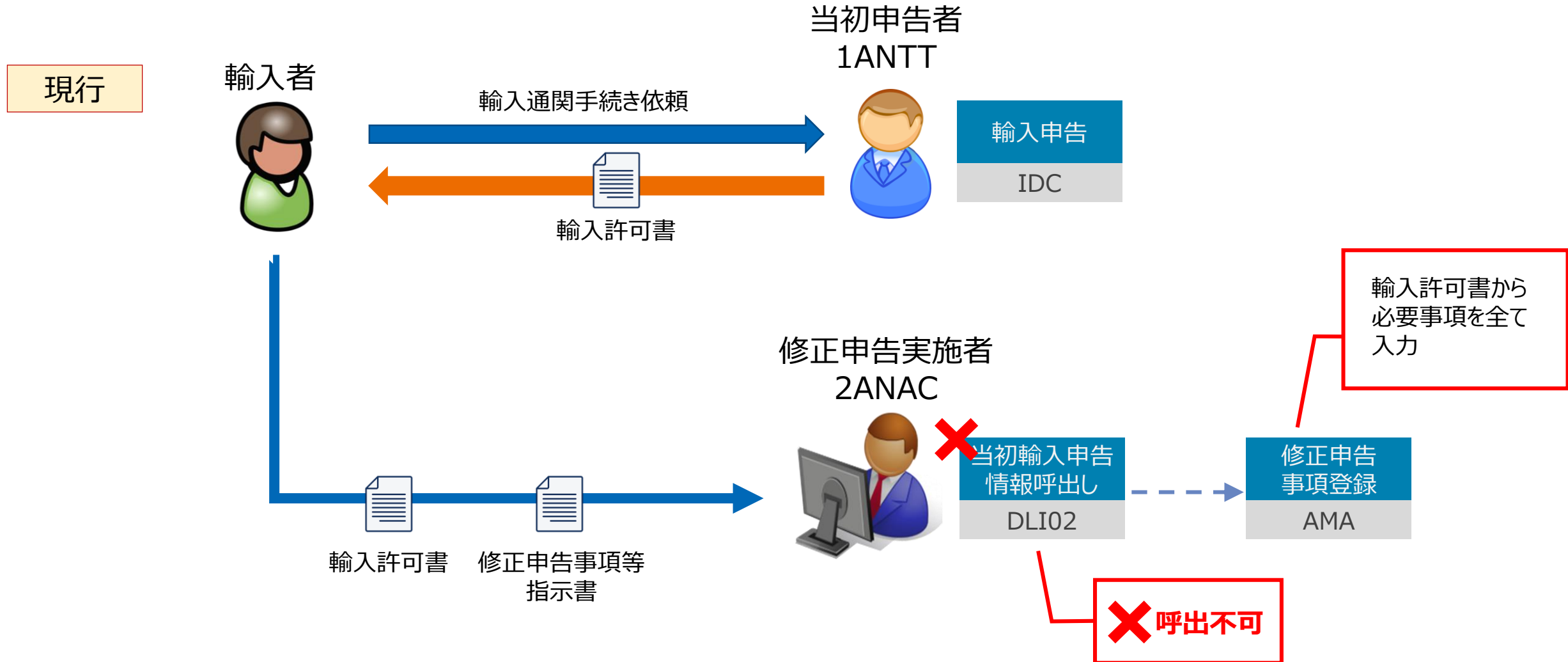
2022年4月14日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

区分	概要
1. 検討項目	「当初輸入申告情報呼出し(修正申告) (DLI02)」業務における当初申告情報の呼出し可能権限の拡大
2. 変更要望	当初輸入申告者が他社通関業者で行っていた場合、DLI02業務を実施できず「修正申告事項登録 (AMA)」業務を輸入許可情報を確認しながら全て一から入力しているため、当初申告者以外でもDLI02業務にて呼出しができるようにしてほしい。
3. 次期仕様	DLI02業務に「当初申告利用者コード」および「当初B/L番号/AWB番号」を追加し、DLI02実施者と当初申告者が異なる場合は、追加項目を必須とし呼出し処理を可能とする。

現行仕様概要

当初申告者でしかDLI02業務による当初申告情報の呼出しができず、当初申告者ではない修正申告実施者はAMA業務の入力項目を全て入力している。



次期仕様概要

DLI02業務の入力項目に「当初申告利用者コード」、「当初B/L番号/AWB番号」欄を追加し、当初申告者以外での呼出しを可能とする。

現行 DLI02業務 入力画面

処理区分コード*	<input type="text" value="v"/>
受理番号	<input type="text"/>
処理ステータス	<input type="checkbox"/> W:未処理 R:処理中 H:保留中
削除フラグ	<input type="checkbox"/>
当初申告等番号	<input type="text"/>
当初許可等年月日	<input type="text" value="___/___/___"/>

次期 DLI02業務 入力画面

処理区分コード*	<input type="text" value="v"/>
受理番号	<input type="text"/>
処理ステータス	<input type="checkbox"/> W:未処理 R:処理中 H:保留中
削除フラグ	<input type="checkbox"/>
当初申告	
申告等番号	<input type="text"/>
許可等年月日	<input type="text" value="___/___/___"/>
申告者	<input type="text"/>
B/L番号/AWB番号	<input type="text"/>

- 以下の新規入力項目を追加する。
- ・「当初申告利用者コード」欄
 - ・「当初B/L番号/AWB番号」欄

当初申告に係る情報を入力する項目について、**レイアウトをまとめて、ラベル名を修正**

3. 次期仕様 (入力項目)

次期

入力項目表(抜粋)

業務名 (業務コード)		当初輸入申告情報呼出し (修正申告) (DLIO2)																
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	線1	線2	条件						コード	入力条件/形式			
								登録/変更			呼出し/削除							
6		当初申告等番号	ICN	an	11			M										(1) 1桁目は「0」以外の数字であること (2) 2桁目は「0」または「1」であること (3) 3～11桁目は数字であること (4) システムで払い出された申告等番号の体系として正しいこと
7		当初許可等年月日	KDT	n	8			M										(1) 修正申告用に当初申告を呼出す場合 ①当初申告の輸入許可年月日を入力 ② (システム日 - 7年) ≤ 当初申告の許可等年月日 < システム日 (2) 特例修正申告用に当初申告を呼出す場合 ①当初申告の特例申告受理年月日を入力 ② (システム日 - 7年) ≤ 当初申告の特例申告受理年月日 < システム日
8		当初申告利用者コード	TRC	an	5			C										当初申告を実施した利用者以外で修正申告用に当初申告を呼出す場合は当初申告を実施した利用者コードを入力する。
9		当初B/L番号/AWB番号	TBA	an	35			M										当初申告を実施した利用者以外で修正申告用に当初申告を呼出す場合に以下の通り入力する。 ①当初申告が海上の場合 申告に紐づく線り返し1回目のB/L番号を入力する。 ②当初申告が航空の場合 申告に紐づくAWB (HAWB) 番号を入力する。

変更後のチェック仕様

(当初許可年月日チェックは省略)

